

令和5年度 錦陵図書館だより 春号

令和5年度スタートです！今年度、第1回目の図書館だよりは、

錦陵図書館(きんりょうとしょかん)ってどんなところ？

をテーマに三国中学校の図書館を紹介したいと思います。新入生の皆さんは、錦陵図書館のことを1から、新2・3年生は改めて知ってもらえたら嬉しいです！

図書館を通じ、新たな出会い・発見をして、一緒に成長する1年にしましょうね☆

まず、図書館の紹介をする前に私の紹介をさせていただきます。私は、錦陵図書館で働いている学校図書館司書です。司書とは図書館を運営する仕事です。簡単にいうと、皆さんと本をつなぐ人です。詳しくは、図書館にある本で調べてみてください。この他にも、職業関連の本や、コーナーがあります。今年1年、よろしくお願いします☆☆☆

☆錦陵図書館ってどんなところ？☆

**その①
本を借りることができる場所**
貸出可能な本は1人5冊。1週間まで借りることができます。カウンターで貸出しと返却を行います。貸出しの時は、カウンターにある名前とバーコードと本を一緒に出して下さい。



**その②
調べ学習ができる場所**
図書館の本は分類ごとに分かれていますので調べたい本を簡単に探せます。知りたい事を調べに来てください☆

**その③
レファレンスができる場所**
レファレンスとは、問い合わせるという意味です。読みたい本が見つからない、そんな時は聞いて下さい。分かる範囲でお答えします。



その他にも...
学習するもよし、雑誌をみるもよし、癒やされに来るもよし！
お待ちしております☆

令和5年度前期の図書委員会が始まりました。新しく1年生を迎え、在校生たちも1つ上の学年となり、フレッシュな雰囲気です。明るく、元気よく、そして楽しく図書委員会が本の素晴らしさを伝えていきます！

図書委員長、副委員長の紹介

私は、本を読むのが好きです。ふたん屋ではホラー系の本を読んでいます。秋のおすけの本は「悪魔の鬼ごっこ」と「ラフォーレ」です。「悪魔の鬼ごっこ」は、ホラー本で、主人公が最後の悪魔と恐木さんを含む全員が、恐怖で希望がなくなり、4日間全滅するはなしで「ラフォーレ」は、ハドントンの小説で、ハドントンの死のせいで死んでいく人が多く出てくるので、みなさん本をよみすぎてきな一冊をみつけてみてください。

3年 李 張

私はいつもボカロが原作になった小説やミステリー小説を読んでいます。秋のおすけの本は「さけの影踏み」です。作者の身に降りかかるさまざまな不思議な現象が描かれたホラーミステリーの短編集です。作者は近村深月さんで、本がかなり好きな作家さんです。語の展開や言葉遣いがとてもいいので読んでいて飽きません。ぜひ近村深月さんの本を読んでみてください。

2年 近村 深月

